



# やまこし減災学習プログラム



“日本の原風景”山古志を襲った中越大震災から  
自然災害で命を守るための対策や対応について学びます



地震、津波、台風、洪水などの自然災害から自身や大切な人を守るため、日頃から各自で取り組める対策や、万一被災してしまった時の対応について学びます。自分が住んでいる地域でおきたらどうなるかを考え、授業の後で行動に移すことが出来るようになります。

## 学習のポイント

### 事前学習

- ✓ 災害の種類や特徴、地震が起こるメカニズムを理解する。

### 現地学習

- ✓ 山古志地域での新潟県中越大震災の被害の人びとの体験を知ろう。
- ✓ 自然の恐ろしさと、自然の恵みが生んだ文化を知ろう。

### 事後学習

- ✓ 授業を受ける前と後でどのように考えが変わったか確認してみよう。

## モデルコース

おすすめ時期 4月~11月

※冬期間は豪雪の場合通行止めとなる場合もあります

各 地 === 越路スマート IC === やまこし復興交流館おらたる [減災学習] === 13:30  
 10:00 10:30 【昼食：弁当】 見学、減災学習

14:10 14:40 15:30  
 === 中山隧道 === 木籠(水没住宅) == 山古志闘牛場 =====  
 13:50 見学 14:15 14:50 牛の角突き2戦臨時開催(有料)

=== 越路スマート IC === 各 地  
 16:00

※山古志闘牛場  
 臨時開催 2 戦 88,000 円(税込)  
 臨時開催 3 戦 121,000 円(税込)



山古志の錦鯉は春～秋期間、野池で育ち、冬は屋内で越冬します。



国指定重要無形民俗文化財に指定されている「牛の角突き」を間近で見学することができます。

※山古志住民ガイド  
 やまこし復興交流館おらたる震災展示室内→中山隧道→木籠(水没住宅)等ガイドがバスに乗り込んでご案内します(有料)



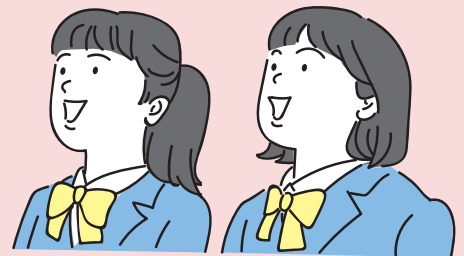
# 長岡花火とその歴史



多くの人を魅了する長岡花火に込められた「慰霊」「復興」「平和への願い」。長岡花火とその歴史について学びます



1945年(昭和20年)8月1日の長岡空襲では、1,488名の尊い命が失われました。翌年、長岡市民が復興に立ち上がり、1946年(昭和21年)8月1日に「長岡復興祭」を開催、翌年1947年(昭和22年)に花火大会が復活し戦没者への慰霊の花火として、慰霊・復興・平和への祈りをテーマに打ち上げられています。また、花火玉の仕組みや特徴についても学び、花火大会を楽しむための学習も行います。



## 学習のポイント!

### 事前学習

- ✓ 長岡や自分たちが暮らす地域での戦争被害などを学ぶ。

### 現地学習

- ✓ 花火シアターで長岡花火を体感する。
- ✓ 花火講話で込められた思いについて学ぶ。

### 事後学習

- ✓ 平和をつかっていくために自分たち一人ひとりができることについて考えてまとめる。

## モデルコース



おすすめ時期

## 通年

※すべて屋内施設での研修となります

各 地 === 長岡 IC === 新潟県立歴史博物館 === 長岡市内 =====  
 10:00 10:10 見学(有料無料有) 11:50 【昼食】

14:10 15:30  
 講演会 [長岡花火とその歴史] === 道の駅ながおか花火館(ドームシアター)  
 13:00 有料 14:30 見学(有料)と買物14:45~15:15

※花火講演会：長岡花火とその歴史(60分) 有料。  
 花火講演会会場は、長岡市内の公共施設やホテルなどの会場で実施します。(施設によって料金は異なります)  
 講師の謝礼が必要です。事前にお問い合わせください。

=== 長岡 IC === 各 地  
 15:40



新潟県立歴史博物館  
 新潟県の歴史・民俗を総合的に紹介する歴史民俗博物館と縄文文化を紹介する縄文博物館を見学することができます。



ながおか花火館(花火シアター)  
 ながおか花火館には、長岡花火を体感することができるドーム型花火シアターがあります。展示室には花火ゲームが楽しめる大ビジョンや長岡花火の歴史や魅力を紹介しています。



# 長岡空襲と山本五十六



1945年(昭和20年)8月1日1時間40分に及ぶ米国軍による空襲で1,488名の尊い命が失われました。日米開戦に最後まで反対した人間、山本五十六を学び、戦争と平和について考えます。

長岡で学べる特徴的な教育旅行モデルコース



## 【山本五十六 やまもと いそろく】

1884年(明治17年)旧長岡藩士族高野貞吉の六男に生まれる。1916年(大正5年)旧長岡藩家老山本家を継ぎ山本五十六となる。長岡中学校を卒業後、海軍兵学校に入学し後に海軍航空本部長などを歴任。

1936年(昭和11年)海軍次官に就任。日独伊三国軍事同盟に断固反対の姿勢を貫いた。1939年(昭和14年)連合艦隊司令長官に就任。1941年(昭和16年)ハワイ真珠湾攻撃の指揮をとった。1943年(昭和18年)ブーゲンビル島で戦死。

## 学習のポイント

### 事前学習

- ✓なぜ日本は戦争をしなければならなかったのか。
- ✓長岡の産業について調べてみよう。

### 現地学習

- ✓長岡空襲によって長岡はどうなったのか。
- ✓新潟が原爆投下候補地だった理由。

### 事後学習

- ✓世界平和のため自分ができることは何か。

## モデルコース



おすすめ時期

## 通年

各 地 === 長岡 IC === 山本五十六記念館 ..... 山本五十六生家 ===  
 10:00 10:20 見学(有料) 11:00 見学

11:50 12:50 14:10  
 ===長岡市戦災資料館 === 長岡市内 === 講演会[長岡空襲と山本五十六]  
 11:20 見学 12:00[昼食] 13:00 有料

15:30  
 ===道の駅ながおか花火館(ドームシアター) === 長岡 IC === 各 地  
 14:30 見学(有料)と買物14:45 ~ 15:15 15:40



山本五十六生家  
本来この場所にあった本物の生家は空襲で焼失したため、復元されたもの。中に入って見学ができます。



平和講演会  
星貴様は、長岡戦災資料館アドバイザー。山本元帥景仰会理事。児童生徒向け、社会人向けなど講演実績多数。



# 自然環境学習



## トキの保護活動と洪水から人々を守る大河津分水を知り 自然との共生を考える



かつては日本全土にいた朱鷺も、「乱獲」「森林の伐採」「水田の消失」などで絶滅してしまいました。繁殖を進めるための「分散飼育」を見学し、生物多様性の保全の取り組みについて学びます。

また、日本一の大河信濃川の氾濫から越後平野を守る分水路である大河津分水を学び、自然との共生を考えます。



### 学習のポイント!

#### 事前学習

- ✓ 朱鷺ってどんな鳥? どこで何を食べて暮らしていたのか、どうして絶滅したのか調べてみよう。
- ✓ 河川はどのように氾濫するのか調べてみよう。近年起こった河川の氾濫による被害について調べてみよう。

#### 現地学習

- ✓ 朱鷺を身近で見て、感じてみよう。
- ✓ 信濃川の治水の歴史を知り、現在の工事を学び見学してみよう。

#### 事後学習

- ✓ SDGS 目標 11「住み続けられるまちづくりを」、目標 15「陸の豊かさを守ろう」について自分たちができることについてみんなで話あってみよう。

### モデルコース



おすすめ時期

通年

※にとこみえ～る館と、トキみ～ては館内が手狭なため見学人数調整の為入れ替えが必要です

各 地	==== 中之島見附 IC	==== にとこみえ～る館	==== トキみ～て	=====
	10:00	10:30 見学	11:25 見学	
	13:20		15:30	
====	寺 泊	==== 道の駅ながおか花火館 [ドームシアター]	=====	
	12:20【昼食】	14:00 見学と買物	14:45～15:15	
====	長岡 IC	==== 各 地		
	15:40			



#### 寺泊

長岡市の日本海に面した地区。夏は海水浴場で賑わい、新鮮な海鮮を求めた買い物客で年中にぎわいます。



#### 大河津分水路

毎年のように洪水を引き起こしていた信濃川に、先人たちの願いで建設された人口の河川（放水路）。現在大改修工事を実施しています。